

ショートショートnote

取扱説明書

ショートショートnoteは、ショートショート(短くて不思議な物語)や、エッセイなどの作品を即興でnoteに書くゲームです。実際に文章を書くという新しいスタイルのカードゲームを、ぜひリラックスしてワイワイとお楽しみください。

noteとは

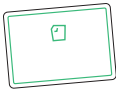
クリエイターが文章やマンガ、写真、音声を投稿することができ、ユーザーはそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。
<https://note.com/>



セット内容

・お題カード:200枚(+予備10枚)

・制限時間カード:3枚



・形式カード:3枚

・ヒントカード:4枚



・取扱説明書(本書)

ゲームルール(遊び方)

※取扱説明書で解説している遊び方は一例です。ぜひオリジナルで考えたいいろいろな遊び方を試しながら、遊びやすい方法でお楽しみください。

1 「お題カード」「制限時間カード」をそれぞれ分けてシャッフルし、裏向きにして山札にします。

2 プレイヤー全員、スマートフォンやPCなどを用意して、note記事を書ける準備をします。

※手書きができるノートや、文章を書ける別のソフトなどでも遊べます。

※全員で同じ場所にも、リモート通話などで参加している人がいても遊べます。



3 自由な方法でゲームの親を決めます。親はまずお題カードを5枚引きます。それらを全て表向きにして、その中から好きなカードを2枚選び、好きな順番で並べて言葉を作ります。例えば、「コップ」と「空飛ぶ」というカードを並べて「空飛ぶコップ」などします。これが、これからプレイヤー全員が作る物語のタイトル(題名)になります。



4 次に親は「制限時間カード」を1枚引きます。引いたカードに書いてあった時間が、作品をつくる制限時間になります。※制限時間カードを使わずに、話し合っただけで自由な制限時間を決めてもOKです。



5 親が何らかの方法で時間を計る準備をし、「スタート」の合図を出します。決められた制限時間の中で、親も含めたプレイヤー全員がnoteの下書きにショートショート(またはタイトルに合った文章)を書きます。制限時間が来たら親は「ストップ」の合図を出します。それ以降は全員書いた文章を直すことはできません。

6 全員が書いた作品を読み合います。一人ずつ順に画面を見せて音読するなどして発表してもいいですし、noteを公開して全員の作品を見られるようにしてそれぞれ読むなどしてもOKです。

7 全員が全員の作品を読み終えたら、「せーの」などの掛け声に合わせて自分以外の作品で一番好きだったものを書いた人を「スキ!」と言いながら指差します。一番多くスキを集めた人がゲームの勝者です。
※同率1位が複数名いる場合はその全員が勝者です。



※物語をなかなか考えられない場合は、ヒントカードを自由に見て参考にしましょう。

作品の形式を変えた遊び方

・親が「制限時間カード」と共に、「形式カード」もランダムに引いて、作品の種類を指定します。
※一人一人が作りたい作品の形式を選んでよいでしょう。

- 「テキスト」であれば、ショートショートやエッセイなどの文章を書きます。
- 「画像」であれば、紙やタブレットなど自由な媒体を用意してタイトルに合わせたイラストやマンガを描きます。※写真などでもいいかもしれません。
- 「音声」であれば、口頭で物語を話します。※歌や落語などでもいいかもしれません。

ゲームが終わったら、#ショートショートnote で作品を公開!

ハッシュタグ「#ショートショートnote」をつけて、ゲーム中に生まれた作品をnoteで公開してみましょう。このゲームを遊んでショートショートを書いた全国の仲間たちとつながって、さらに遊びやコミュニティの輪が広がることを願っています。

(「ショートショートnote」開発チームも、タグがつけられた投稿を読ませて頂きます!)

販売元:株式会社パートナーズ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-20-2 ホウライビル6F E-mail:info@ptns-sp.com

※不良品の交換等のお問い合わせは上記メールアドレスにお願いいたします。お問い合わせ時には、メールの件名に「ショートショートnote」とご記入ください。また不良品交換のお問い合わせの場合は、必ずご連絡先・お名前・不良の内容をお書き添えください。